

健保だより

スタンレー電気健康保険組合



令和7年度 予算のお知らせ



納付金の増加により厳しい健保財政 効果的な保健事業の実施と 医療費の適正化を目指します

スタンレー電気健康保険組合の令和7年度の予算案が、去る2月13日開催の第154回組合会において可決承認されましたので、その概要をお知らせします。

当健保組合の令和7年度の予算総額は、51億4,322万2千円となり、経常収支では1億4,686万9千円の赤字となりました。

賃金上昇等により、保険料収入は前年度予算から4,919万6千円増加し、29億4,919万6千円となりました。支出面では保険給付費が、前年度予算比1億5,159万3千円減の15億5,946万7千円となったものの、前期高齢者納付金の増加に伴い、高齢者医療への拠出金が増加し、前年度予算比9,118万9千円増の13億5,120万2千円となりました。

このような納付金の増加により赤字予算を計上することとなり、厳しい健保財政が続いています。高齢者医療への拠出金は保険料収入の5割近くを占め、健保財政を圧迫する大きな要因となっています。

当健保組合は、加入者の皆さまの健康の保持増進を支えるため、今年度も効果的な保健事業を展開してまいります。併せて、より健全な財政運営に向けた医療費の適正化、経費節減にも取り組んで

予算のポイント



●保険料率は健康保険料率、介護保険料率ともに据え置き

健康保険料率、介護保険料率ともに据え置きます。しかし、今後は保険給付費、高齢者医療への拠出金の増加が見込まれることから、引き上げも避けられない状況になっています。

●高齢者医療への拠出金が健保財政を圧迫

高齢者医療への拠出金は、13億5,000万円となり、依然として健保財政を圧迫しています。

●効果的な保健事業で給付費の効率化を目指す

第3期データヘルス計画に沿った効果的な保健事業で健康の保持増進を推進し、保険給付費の効率化を目指します。

まいります。

皆さまにおかれましても、各種保健事業を積極的にご活用いただき、日々の健康管理にお役立ていただくほか、ジェネリック医薬品の選択など、医療費の節減につながる取り組みにも引き続きご協力いただけますようお願いいたします。

令和7年度 収入支出予算概要

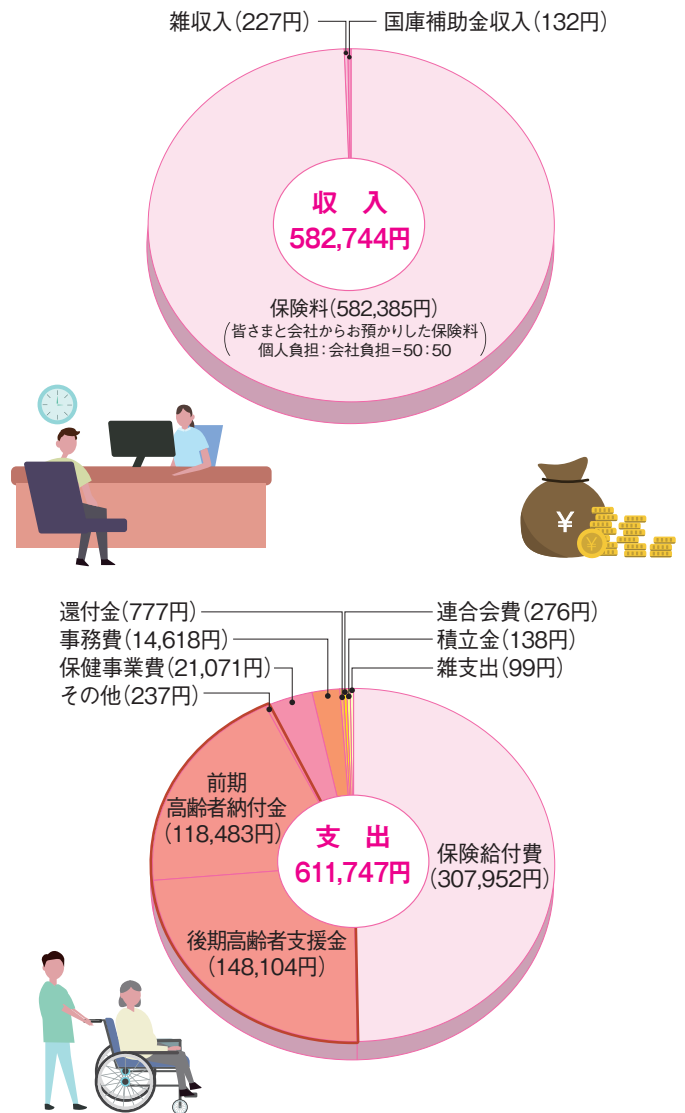
健康保険分

収入 (百万円)	保険料※	2,949
	基本保険料	1,613
	特定保険料	1,337
	国庫負担金収入等※	1
	調整保険料	42
	繰越金	658
	繰入金	1,216
	国庫補助金収入	1
	財政調整事業交付金	10
	雑収入※	1
	介護勘定受入	266
	合計	5,143
	※経常収入合計	2,951

支出 (百万円)	事務費※	74
	保険給付費※	1,559
	法定給付費	1,504
	付加給付費	56
	納付金※	1,351
	前期高齢者納付金	600
	後期高齢者支援金	750
	保健事業費※	107
	還付金※	4
	営繕費	6
	財政調整事業拠出金	42
	連合会費※	1
	積立金※	1
	雑支出※	1
	介護勘定繰入	1
	予備費	1,998
	合計	5,143
	※経常支出合計	3,098

経常収支差引額 ▲147 百万円

経常収支を被保険者1人当たりで見ると



介護保険分

収入 (百万円)	保険料	360
	繰越金	10
	繰入金	190
	合計	560

支出 (百万円)	介護納付金	293
	還付金	1
	一般勘定繰入	266
	合計	560

予算編成の基礎となった数字

- 被保険者数 5,064人 (男性 4,144人、女性 920人)
- 平均標準報酬月額 400,178円 (男性 420,065円、女性 310,622円)
- 総標準賞与額(年間合計) 8,195,740千円
- 平均年齢 42.16歳 (男性 43.20歳、女性 38.80歳)
- 被扶養者数 3,928人
- 前期高齢者加入率 1.203774%
- 健康保険料率 1,000分の93.000 (事業主 1,000分の46.500、被保険者 1,000分の46.500)
- 介護保険の対象となる被保険者数 2,743人
- 介護保険料率 1,000分の18.600 (事業主 1,000分の9.300、被保険者 1,000分の9.300)

令和7年度 当健保組合の主な重点施策について

健康推進

- ▶ 特定保健指導の終了率と特定診査の健診率の向上
- ▶ 被扶養者の健診受診率向上
- ▶ 事業主とのコラボヘルスによる健康アプリFiNC展開

財政健全化

- ▶ 若年層向け、重症化予防の保健指導の推進
- ▶ 事業主検診と健保健診の制度すり合わせ
- ▶ 福利厚生等の見直しによる体育館維持費削減

効率化

- ▶ ペーパレス化（WEBシステムの構築）



健診を受けましょう!!

健診は、自覚症状がないうちに体の状態をチェックして、病気の早期発見・重症化の予防につなげるためのものです。大事な体が壊れてしまう前に、健診を有効活用しましょう。

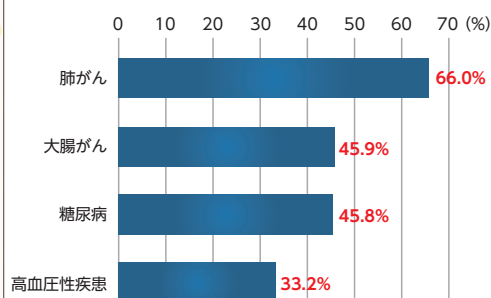
きっかけは
健診!

がんや糖尿病、高血圧などの生活習慣病は、初期には自覚症状がないまま進行することがほとんどです。健診を年に1回必ず受けることで、こういった病気の早期発見や重症化予防につながります。

自覚症状なく病院を受診したきっかけの第1位は「健康診断等で指摘されたため」となっています。



外来患者で自覚症状がなかった人の割合



厚生労働省「令和2(2020)年受療行動調査(確定数)の概況」より作成

ご家族にも受診を勧めてください

被扶養者の場合、ご自身で申し込まないと健診を受けないままになってしまい、健康リスクが高まります。ご家族が健診を受けていない場合は、ぜひ受診を勧めてください。



人間ドック
5,000円

30歳
以上

けんぽ共同健診
0円

スタンレー電気健保組合では、30歳以上の方は人間ドック5000円、けんぽ共同健診0円で受診をすることができます。

5月上旬に
受診案内ハガキを
送付予定です。



扶養者と共に
申込を!



「FiNC」で 健康管理を始めましょう!

スタンレー電気で導入している健康アプリ
『FiNC』を健保組合でも導入いたします!
アプリを活用して、ご自身の健康状態の把握や
生活習慣の改善をスタートさせてみませんか?

カラダのすべてを、
ひとつのアプリで!

歩数/食事/運動/体重/睡眠/生理/健診結果
などのカラダ記録をまとめて管理できる
健康管理アプリです。

健康行動でマイル
(ポイント)をGET!

アプリ内で指定の行動を行うと「マイル」を獲得でき、
貯めたマイルはデジタルギフト等の景品と交換や、
抽選への応募に使用できます



- ▶ 毎日4,000歩・8,000歩を達成すると、
歩数ガチャチケットを獲得!
- ▶ 獲得したチケットを利用したマイル獲得に挑戦!
- ▶ 1チケットあたり、最大3マイル獲得するチャンスも
- ▶ プログラム参加し、ミッション達成でマイルゲット!

貯めたマイルは、
Amazonギフト券
などに交換可能

「FiNC」の登録方法は
スタンレー電気健康保険組合のホームページにて



<https://www.stanley-kenpo.or.jp/member/health/>



注意

30歳以上の方は、現在お使いの『KENPOS』も継続してお使いできますが、
ポイント優遇や独自イベントは廃止になりました。

KOSMO Web Communication

加入者の皆さまと健康保険組合の情報連携のための
WEBプラットフォーム

KOSMO Web (KOSMO Communication Web)

の導入を進めています。

6月開始予定



パソコンやスマートフォンを使って、

医療費情報

支給決定通知書

処方医薬品情報

ジェネリック
医薬品情報

を直接取り出せるようになります。

6月に登録用はがきを送付しますので、必ず登録をしてください。

健康保険証の新規発行・再発行が終了しました。

令和6年12月2日から従来の健康保険証の新規発行・再発行が終了し、
マイナ保険証を基本とする仕組みに移行しました。
登録がまだお済みでない方は、できるだけ早く手続きしましょう。



マイナ保険証 利用までの流れ

STEP1.

マイナンバーカードを申請

■申請方法

- ① オンラインで申請する
(パソコン・スマートフォンから)
- ② 郵便で申請する
- ③ まちなかの
証明写真機から申請する



STEP2.

マイナンバーカードを
健康保険証として登録

■利用登録の方法

- ① 医療機関・薬局の受付
(カードリーダー)で行う
- ② 「マイナポータル」から行う
- ③ セブン銀行ATMから行う



STEP3.

医療機関・薬局で
マイナンバーカードを用いて受付

■受付方法

- ① 顔認証つきカードリーダーにマ
イナンバーカードを置く
- ② 本人認証を行う
(顔認証・暗証番号)
- ③ 各種情報提供の同意選択をする

